

退院調整支援シート（相談支援専門員用）

会議参加日：平成 年 月 日

氏名	生年月日：平成 年 月 日（ 歳 ）		
入院日	平成 年 月 日	保険種別	1：健保（政府・組合・日雇） 2：国保
退院予定日	平成 年 月 日		3：共済 4：生保 5：労災
特定疾患 小児慢性疾患	有・無・申請中（申請月日： ） （ ）	身障手帳	有・無・申請中（申請月日： ） （ ）
コーディネータ	相談支援事業所名： 担当コーディネータ名：	地域資源の活用予定	発達支援センター通園・兄弟が保育園利用 居宅介護・中核地域生活支援センター・市独自事業 その他（ ） 理学・作業療法士の活用
病名記入欄	経済的問題 有・無 有の場合詳細（ ）		
退院に際して支援 が必要な理由	1：再入院を繰り返している 2：褥瘡処置等退院後も高度で熟練的医療が必要（ ） 3：入院前に比べてADLが低下し、退院後の生活に再編が必要な患者 4：家族と同居ではあるが、必要な療育・介護を十分に受けられる状況にない患者 5：現行制度を利用しての在宅移行が困難あるいは制度対象外の患者 6：医療依存度の高い子供であり、退院移行期、退院後に家族支援・本人状態安定の為医療の活用が必要 7：虐待可能性があるため介入が必要 8：家庭的に問題あり、現行制度上で家族支援が必要 9：医療依存度の高い子供を地域の子供にするために訪問看護が必要 10：その他		
現在問題となっ ている症状	1：呼吸障害（ ） 2：循環器症状（ ） 3：麻痺（四肢拘縮：筋緊張亢進・低下） 4：摂食・嚥下障害 5：低栄養 6：けいれん 7：脱水 8：疼痛またはその他の苦痛症状 9：排便コントロール不良 10：感染症を繰り返す 11：低体温 12：その他		
退院後予測される 医療的処置	1：気管カニューレ 2：人工呼吸器 3：吸引 4：HOT 5：注射・点滴 6：中心静脈栄養 7：経管栄養 8：腎瘻 9：膀胱留置カテーテル 10：尿管皮膚瘻 11：CAPD 12：ストーマケア 13：褥瘡処置 14：疼痛（麻薬）管理・症状コントロール 15：リハビリテーション 16：その他（ ）		
退院調整チームが 共有する目標	退院一か月後の在宅療養生活の目標点を医療機関と在宅医療機関が共有し、それに向けてそれぞれの役割を果たす		
退院後の救急診療 受け入れ先	有・無 有の場合医療機関名：	診療科：	担当医師名：
退院後の状態変化 に伴う入院検討時 状態の目安			
調整会議での確認 事項			

**コメントの追加 [谷8]:** 支援シートに記載する情報は、まず医療機関のMSW、退院支援担当者、病棟看護師へヒアリングしましょう。  
下記に各項目を情報収集する目的や方法を赤字で記載します。基本シートと重複している項目については省きましょう。

**コメントの追加 [谷1]:** この制度を活用している場合は保健師の介入があります。

**コメントの追加 [谷2]:** 通常、退院前に院内で退院後に活用が望まれるサービスを家族と医療者で相談し、ある程度絞り込んでいる場合もあるため、事前に活用予定を確認しましょう

**コメントの追加 [谷3]:** 病名及びどのような特徴のある疾患であるかについては、医療機関の担当者に確認しましょう。知らない聞き直るのではなく、疾患を理解し支援したいという姿勢で訊きましょう。

**コメントの追加 [谷4]:** 支援が必要な理由を確認しやすいよう項目を作成してあります。該当項目がない場合は、その他に記入します。

**コメントの追加 [谷5]:** 現在の症状に対し、医療者が問題と捉えているのかまた、どのような対策があるのかについて共有するための項目です。

**コメントの追加 [谷6]:** 退院後予測される処置があ留場場合には、訪問診療・看護・リハビリテーションが必要となります。また、医療機関の後方支援も重要となるため確認しましょう

**コメントの追加 [谷7]:** 再入院となる想定される状態や症状を確認しましょう。また、この項目は後に養育者や在宅で支援を行うチームメンバーに対しても提示しましょう

調整会議参加者：

記録者：

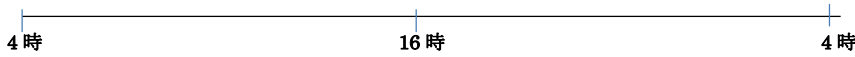
■入院中の子どものタイムスケジュール現状

午前



**コメントの追加 [谷9]:** 入院中と退院後の生活における子どもと養育者の24時間のスケジュールを30分単位で把握しましょう。これを根拠に計画立案し、市町村にサービスの根拠として提示しましょう。ここは非常に重要です！

■退院後の生活を踏まえて、タイムスケジュール上での問題点と解決策の共有

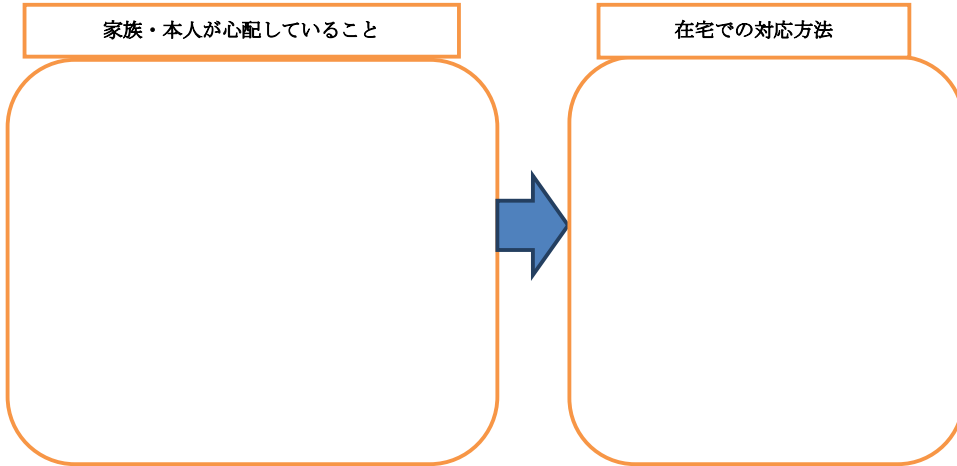


■週間スケジュール

時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日
4時～7時							
7時～11時							
11時～14時							
14時～17時							
17時～20時							
20時～23時							
23時～1時							
1時～4時							

**コメントの追加 [谷10]:** 子どもと養育者、家族全体の24時間一週間のスケジュールを把握しましょう。またこのスケジュールに関する情報も、市町村へサービス立案の根拠として提示しましょう。

■退院後自宅で起こりうると予測されること、それに対する在宅での対応策について



**コメントの追加 [谷11]:** 家族が心配していること、予測されることをチームメンバー間で共有するために聞き取ります。  
主治医へ確認しましょう。主治医へアクセスすることが困難な場合は、担当看護師へ確認しましょう。

■入院中に行われる病状説明の内容と受け止めについて

病状の理解 医療者からの説明内容	
説明内容と受け止め (病状・予後について)	患者本人
	家族

**コメントの追加 [谷12]:** 退院後の障害受容にも関わる重要な項目です。医療者に確認しましょう。またチーム内で共有する必要があります。

調整会議で入院機関・在宅医療機関で共有した在宅移行期における問題等

在宅移行期における 問題点と解決策	問題点	解決策
予測される事態とその対処方法		

自由記載欄

※本書は、「千葉県障害児等支援訪問看護センター事業」の受託法人の協力により作成したものである。  
(千葉県健康福祉部障害福祉課 平成 25 年 1 月 22 日作成)